

令和3年産主食用米の生産の目安について

〔令和2年12月4日〕
〔農業経営発展課〕

1 全国の令和3年産主食用米の生産量の見通し（令和2年11月5日 国公表）

国は、主食用米の生産量の見通し（生産数量目標に代わる指標）について、693万トンと設定した。

これは、令和3年から4年にかけての主食用米の需要見通し705万トンから令和4年6月末民間在庫量が、適正在庫量とされる200万トンを超えない水準となるよう設定されたものである。

	主食用米の生産量の見通し
令和3年産	693万トン（前年比 ▲15～▲24万トン）

2 広島県の令和3年産主食用米「生産の目安」

平成30年産から、国による都道府県別の生産数量目標の配分が廃止されたため、広島県農業再生協議会では、需要に応じた生産を推進するため、地域の主食用米の「生産の目安」を設定している。

令和3年産の主食用米の「生産の目安」は、県内需要者が希望する県産米需要量から、今年産の目安から3,874トン減少した119,741トンと設定した。

	主食用米の生産の目安		作付実績
	生産量	面積換算値	
令和3年産	119,741トン	22,678ha	—
令和2年産（参考）	123,615トン	23,501ha	22,000ha
3年産－2年産	▲3,874トン	▲823ha	+678ha

3 今後の取組

県農業再生協議会において、地域の「生産の目安」を地域別に区分した参考値を作成し、12月末までに地域農業再生協議会へ通知する。

県産米の需要に対応した作付を確保するため、生産者へ県内需要者が求める米の銘柄（品種）等を提示し、家庭向け良食味品種や業務用に適している収量性の高い品種等へ誘導する。